



さくらぐみだより



NO. 16

鈴鹿市立玉垣幼稚園

令和6年12月23日

12月に入り、寒さが厳しくなってきました。そんな中でも、子どもたちは寒さに負けず元気にあいさつをし、幼稚園生活を楽しんでいます。「こおりおにしようよ」「いいね」「大縄回して」などと、自分のやりたい遊びを見つけ、楽しんでいます。

“友だちと一緒に遊ぶ”ということに喜びや心地よさを感じることができている子どもたち。友だちが悲しい顔をしていたら「どうしたの?」「大丈夫?」と優しく声をかける姿も見られています。友だちのことを大切に思う気持ちも育まれてきているので、その姿を大切にしていきたいと思っています。

お知らせとお願い

○子ども達がイメージしたものを作る際に使用してきた空き箱やカップ等の廃材。2学期にたくさん持ってきていただいたので、3学期に遊ぶ量は十分ありそうです。そのため、廃材の回収を一旦終わらせていただきます。たくさんのご協力をありがとうございました。

○運動会の景品でお渡ししたぽっくりを持ち帰ります。子ども達は、ぽっくりで色々な場所を歩いたり、後ろ歩きに挑戦したり、速足で歩いたり、様々な楽しみ方をしていました。コツコツと取り組むことで、少しずつできるようになることの楽しさを感じ、夢中で遊ぶ姿が見られていました。

冬休み以降は、お家で楽しんでくださいね。



おおかみが少なくて… どうしよう？

11月中旬頃から、おおかみとこぶたのおにごっこを楽しむ姿が見られています。おおかみ(おにの人)と、こぶた(逃げる人)に分かれ、おおかみがこぶたを追いかけます。おおかみにタッチされたこぶたは檻(白線で作った場所)の中に入り、仲間のこぶたにタッチしてもらったら逃げることができます。また、こぶたにはお家(バリア場)があり、そこに入っていればおおかみにタッチされることはありません。

ルールのある遊びを楽しんでいる子ども達。自分一人だけが考えたやり方で遊ぶのではなく、友達と同じやり方で遊ぶことで、友達とコミュニケーションをとりながら遊ぶことを楽しめるようになってきています。

こぶたの子は、おおかみにタッチされないように、全力で走ったり、「こっちだよー」とおおかみを呼んで逃げ

たり、お家から出たり入ったりを繰り返しギリギリのところでタッチされないようにするスリルを味わったりすることを楽しんでいます。おおかみの子は、こぶたをタッチできたときの喜びを感じたり、どうしたらこぶたをタッチできるか話し合ったり、タッチしたこぶたを逃がさないように守ったりすることを楽しんでいます。

そんな中で、おおかみの子(Aちゃん)が「もう、すぐ逃げられる…」と話していたことがありました。この日はAちゃんと私の2人でおおかみをしていました。どうしたのか話を聞いてみると「こぶたをタッチして檻に入っても、すぐにこぶたがタッチしに来て逃げられるんやもん…」と困ったことを伝えていました。こぶたの子達は「だって(こぶたが)捕まったら逃げれるようにタッチしに行くもん」「こぶたは助けに行くもん」と、こぶたとして助けに行くことは必要なのだということを伝えていました。

私は「どうして、すぐに逃げられるんだろうね？」と子ども達に問いかけてみました。すると「おおかみが少なすぎて、守れやんのっちゃう?」「前見てたら後ろからくるこぶた分からんもん」「追いかけてたら守るおおかみおらんくなるもんね」と、考えたことを次々に話していました。それを聞いたAちゃんが「もっとおおかみが増えてほしい!」と、こぶたの子に伝えると、こぶたの子達は「僕はこぶたしたい」「私もこぶたがいいんだよね」と、自分のやりたいことを話していました。友達の思いを聞き、しばらく考えたAちゃんは、「やっぱりまなみ先生とおおかみ頑張る!」と、再び駆け出していきました。



子ども達は、おにになって友達を追いかけるより、友達や先生に追いかけてもらうということに楽しさを感じている姿が見られています。Aちゃんが“やっぱり先生と一緒におおかみをする”という思いをもち、おにをやりに続けていたので、その後もみんなでおおかみとこぶたのおにごっこを楽しむことができていました。おにごっこの中でAちゃんは、先生(おに)と一緒に作戦を立てたり、捕まえることができた喜びを言葉やハイタッチで共有したり、次も捕まえに行こうと体を寄せて気持ちを合わせたりし、先生と一緒に役(おに)になって友達を追いかけるということを楽しんでいました。

今はおにごっこの中で逃げることを楽しんでいる子ども達が、そのようなおにの楽しそうな姿を見て、これからどう心が動いていくか、私自身とても楽しみにしています。3学期もおにごっこを通して、様々な楽しみ方を味わうことができるよう、一緒に遊んでいきたいと思っています。

みんなで育てたかわいいラディッシュ♪ 嬉しいね！

11月に種まきをしたラディッシュ。今、収穫の時を迎えています。

毎日の水やりの中で、少しずつ大きくなってきているラディッシュを見て「葉っぱが大きくなってきた」「ここ赤いのが見えてるよ」「これがラディッシュなの？」「早くラディッシュ採りたいなあ♪」と収穫できるのを待ちわびている姿が見られていました。

12月に入り、「ラディッシュが大きくなってきたから、順番に収穫していこうね」と伝え、「やったー！！」と大興奮だった子ども達。収穫の際には、友達が収穫している様子を見たり、どれを収穫しようか考えている友達に「こっちの方が大きいんじゃない？」「あっ、こっちもよさそう」と一緒にラディッシュを探したり、収穫したラディッシュの大きさを友達と比べたり、「めっちゃ赤い！」「トマトみたいだ」「きれいだね」と、真っ赤なラディッシュを見て感じたことを伝えたりと、興味津々の様子が見られていました。

お家に持ち帰った後は、「サラダにして食べた」「私もサラダ！」「葉っぱも食べたよ」などと、嬉しそうに話している姿がありました。幼稚園で種まきをして育てた野菜を収穫することは初めての経験でした。(夏野菜は苗から育てていました)ラディッシュの種まきをした時のことを思い出し、「種って粒粒だったよね」「ゴマみたいだった」「めっちゃ小さい種だった」「ラディッシュになって嬉しい！」と話す姿も見られ、まいた種がラディッシュに生長するから不思議さを感じている姿もありました。ラディッシュの生長の過程を、毎日の水やり時の観察の中から知ることができ、自分達が大切に育ててきたラディッシュを収穫することができたということに大きな喜びを感じていました。

ニンジンやスナップエンドウの種まきもしたので、3学期はそちらの生長と収穫を子ども達と楽しみながら、子ども達の気付きや発見も大切に受け止めていきたいと思っています。



どれが大きいかなあ♪



焼きいも とろ〜り甘くて美味しかったね♪

11月29日(金)に、いもほりを行いました。自分達で土を掘ってサツマイモを探すことを楽しみ、見つけた時には「あった!」「やったー!」と嬉しそうな表情を見せていました。その際に掘ったサツマイモは、園長先生にふかし芋にいただき、給食の時においしく食べていました。その後、一緒にいもほりをしていただいた地域の方にサツマイモをいただいたので、今度は焼きもをして子ども達にサツマイモの美味しさを味わってもらおうと思い、焼きもをすることにしました。

焼きもの準備は子ども達がはりきってしていました。小学校へ行き、焼きもに使用する枯れ葉や落ち葉を拾ったり、園舎裏に焼きもをするための大きな穴をみんなで力を合わせて掘ったりと、すすんで準備をする姿がありました。「焼きも早く食べたいなあ!」「楽しみ!」とワクワク感が大きくなっていた子ども達。



当日は朝から火を起こしてもらい、すみれ組さんが新聞紙とアルミホイルを巻いて準備してくれたサツマイモを焼いていただきました。「火が出てる!」「いいにおいがするね」「早く食べたいなあ」とサツマイモが焼けるところを見たり、匂いを嗅いだりしながら、出来上がるのを楽しみに待っていました。焼きいもができあがると、みんなで「いただきます」をして食べました。熱々の焼きもを頬張りながら、「美味しいね」「甘い!」「とろけるわ!」「おかわり下さい」と、笑顔で食べていました。青空の下で、友だちと一緒に食べた焼きものの味は格別だったようです♪



2学期を振り返って・・・

あっという間に2学期も終わりを迎えました。運動会、いもほり、中学生とのふれあい、美術作品展、クリスマス会など、様々な行事があり、その中でいろいろな人とふれあい、楽しい思い出がたくさんできました。

毎日の園生活の中で、子ども達の心にはとても大きな自己肯定感が育ってきたと思います。自己肯定感を支えるものは、先生が見てくれるから大丈夫、失敗しても大丈夫、大好きな友達の存在がある、その友達に認められたり励まされたりして嬉しい、という思いがあり、やってみようという一歩につながっていきました。毎朝子ども達が元気に門からさくら組に向かって走ってくる姿に、とても大きな自己肯定感が育ってきているなど成長を感じながら、2学期を終えさせていただくことができました。

2学期も保護者の皆さんのあたたかいご協力、ご支援をいただき、本当にありがとうございました。
3学期もどうぞよろしくお願い致します。



小学校で遊んだり・・・♡



すみれ組さんみたいに
うさぎのお世話をしたり・・・♡

**3学期も元気な子どもたちに
会えるのを楽しみにしています！！
よいお年を・・・☆**

